

保護者ならびに生徒各位

令和 8 年 7 月 日

進学塾 エクセル

【中学 3 年生】夏期特別講習の意義

保護者ならびに生徒各位 令和 8 年 7 月吉日 進学塾エクセル

中学 3 年生にとっては、まさに「この夏で全てが決まる」と言っても過言ではない、特別な夏休みがやってきました。この夏の過ごし方を誤ってしまうと、取り返しのつかない後悔をするのは生徒本人です。時は元に戻すことはできません。

私たちも長年、学習塾という立場から数多くの受験生を見てきましたが、「これで完璧だ」という絶対の正解は永遠に出ないでしょう。しかし、これまでの豊富な経験の中から導き出された「生徒たちにとっての最善の勉強方法・スケジュール」を、一生懸命に頑張る生徒たちに全力で提供したいと考えています。

今年度の夏期講習の「主眼」とスケジュール

例年であれば、週 5 日・計 80 時間といった非常にハードなスケジュールを組んできましたが、今年度は「週 3 日・計 47 時間」のカリキュラムへと刷新いたします。

これは生徒の個性や能力を鑑み、過大な負担をかけないための設計です。

- ・ 「学習の消化不良」を防ぐ: 授業時間をあえてコントロールし、家庭学習で十分に復習・定着できる「余裕のある時間」を確保します。
- ・ 学校の宿題との両立: 計画的に進めることで、学校の課題も余裕を持って終わらせることができます。

なぜ、この夏に 5 科目の総復習(1 年～3 年 1 学期)が必要なのか？

入試では「内申点」と「実力点」の両方が要求されます。当塾がこの夏、5 科目の総復習にこだわるのは、実力アップのみならず、「2 学期以降の内申点(定期考査)アップ」に直結するからです。

中学 3 年生の 2 学期以降の定期テストは、単に習った範囲だけでなく、これまでの総復習問題が数多く織り交ぜられた「実力的要素」が多分に入ってきます。この夏に土台を作っておかなければ、秋以降のテストで点数が取れなくなってしまうのです。

各自、教科によって「弱点補強」や「得意教科のさらなる強化」など、テーマはそれぞれ異なるはずです。この講習の中で最大限の効果を出せるよう、当塾としても万全の体制で臨む所存です。

人生において一度きりの中学 3 年生の夏休み。最高の夜明けを迎えるために、みんなと一緒に頑張り抜きましょう！

そして君たちの先輩で元塾生から君たちへのエールにかえて、

[今年北須磨高校から阪大へ現役合格した岡村君\(クリックしてください\)](#)



[彼からのメッセージ: 阪大合格英語学習法\(クリックしてください\)](#)



【小学部・中学 1、2 年生】夏期講習について

保護者ならびに生徒各位 令和 8 年 7 月吉日 進学塾エクセル

「ゆとり教育からの脱却」という名目のもと、現在の教科書は内容が深く、勉強する範囲も以前に比べてかなり増えています。中学 3 年生以外の学年においては、普段の曜日・時間帯通りの「通常授業」の枠組みの中で、中身を夏期講習的な集中カリキュラムに切り替えて指導いたします。この夏は、英語・数学(小学部は算数・国語)を中心に、1 学期にやり残したことの解消や、苦手教科の復習を徹底していきましょう。

⚠ 今、教育の現場で最も危惧していること:「国語力」の不足

最近、日々の指導の中でとみに強く感じるのは、「国語力不足の生徒が増えた」ということです。

テストの点数だけに気を奪われがちですが、私たち教育の現場から見ると、国語力の不足は「数学の文章題が読めない」「理科・社会の記述が理解できない」といった、他のすべての教科への致命的な悪影響となって現れています。

長年の教育現場での経験から断言できるのは、国語の強い生徒というのは、学校の授業だけで強くなったのではなく、圧倒的な「読書量(活字に触れた量)」の差によるものだということです。

💡 では、この夏休みにどう行動すべきか？

「時間がない」「忙しい」と理由をつけて、面倒くさいことから逃げていては、現在国語が得意な生徒との差は永遠に埋まりません。

最初は少しずつで構いません。

- 本を読む(小説でも新書でも)
- 新聞の記事を読んでみる
- その日にあったことを日記につづる

活字に触れ、書き、まとめる習慣を、この夏こそ身につけてほしいと思います。夏休みは、そうした地道な取り組みにまとまった時間を投資できる、1年で唯一のチャンスです。

暑い夏ではありますが、一歩先へ進むために、皆さん全力で頑張りましょう！